

経済統計b:第1回

担当教員 黒田敏史

今週の内容

- ガイダンス
 - 授業計画
 - 評価方法

授業計画

- テキストに準じて講義を行う
 - 谷沢弘毅著『コア・テキスト 経済統計』(新世社)
 - 資料はポータル&Webで公開(前期未履者はWebページで資料を入手可能 <http://www.tku.ac.jp/~kuroda/index.html>)
 - テキスト9~12章:各章テキスト解説+データ紹介の2週で1章のペース
 - 9章企業活動統計
 - 10章財政統計
 - 11章金融統計
 - 12章対外バランス統計
- その他経済分析を行うためのデータについても紹介
 - アンケート調査の方法、分析方法
 - 国際機関統計(世界銀行、IMF、ITU等)
 - 業界団体・市場調査データ

授業計画

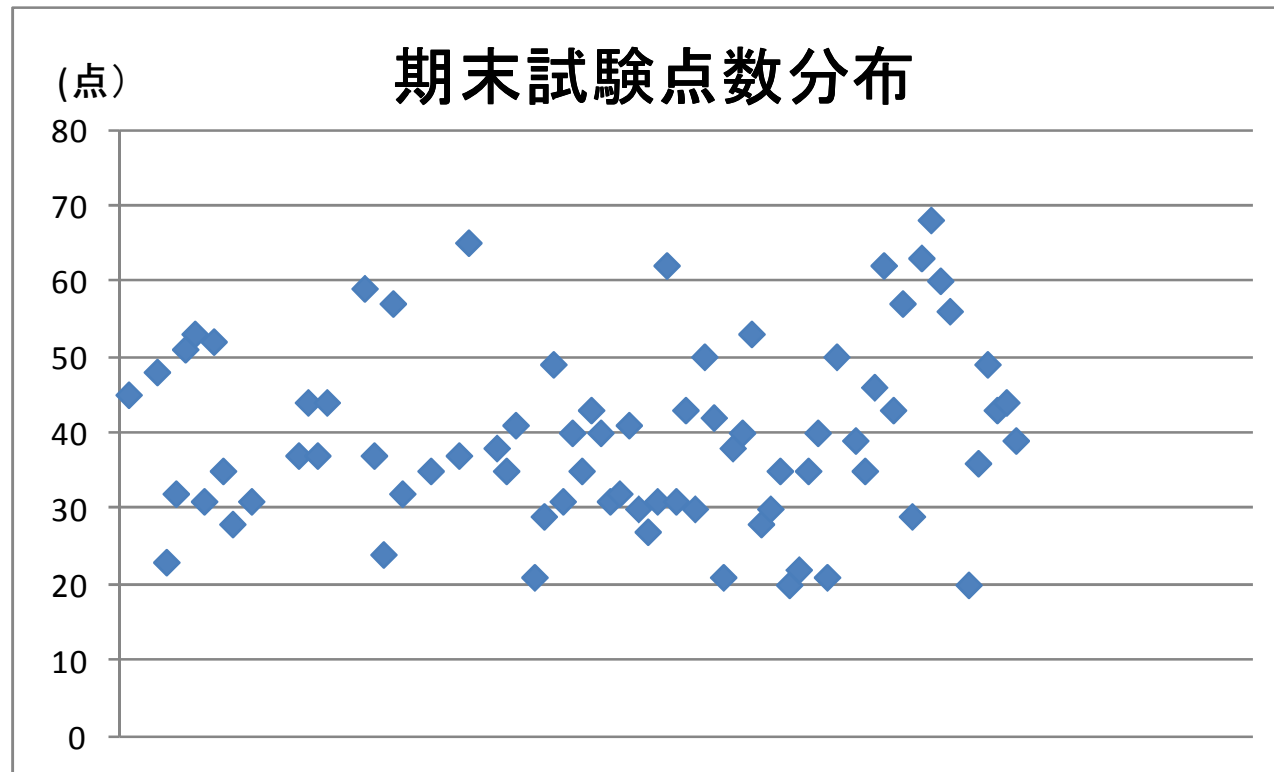
- オフィスアワー
 - 月曜13:00–14:30
 - 第二研究センター2201号室
 - 要予約としていますが、予約無しでも受け付けます
(ただし、予約がない場合は居ないかもしれません)
 - 予約は kuroda@tku.ac.jp まで連絡を

評価方法

- レポート(40%) + 試験(60%)
 - 試験は講義資料に記述されていた事についての正誤問題を予定
- 出席はとらない
- レポートは12月頭に課題発表、提出は12月末、TKUポータルを利用のこと
 - 簡単なアンケートの作成、分析をしてもらう予定

前期試験講評

- 受験者数76名
- 平均点39.61点、範囲0—68点



前期試験講評

- 問1：景気指標に関わる問題
 - 1-1：景気指標についての記述
 - 1-2：在庫循環の読み方
 - 1-3：DIの概念
 - 1-4：GDPギャップ（実質換算してから）
 - いずれもテキストの該当章を読めば全当可能

前期試験講評

- 問2: GDPに関する問題
 - 2-1: GDPの計算(高校の政経レベル)
 - 2-2: 経済成長率の分析
 - 2-3: 貯蓄-投資バランス
 - 2-4: GDPデフレータの計算
 - 2-2を除いて、テキストの記述から即答えを導出可能
 - 2-2aは一国の経済成長と一人あたり経済成長の違いを正しく理解していれば回答可能
 - 2-2bは寄与度が変化率を要素シェア \times 要素変化率の和の形に変形できることを理解していれば回答可能(第7回資料参照)

前期試験講評

- 問3:物価指数に関する問題
 - 3-1:物価指数の定義の問題
 - 3-2:異なる物価指数の比較の問題
 - 3-3:ラスパイレス・パーシェの計算問題
 - 全てテキストの記述から容易に回答可能
 - しかし、3-3を回答している人がいなかったのは何故？（より手間のかかる4-1を回答している人は多かった） Σ 記号を使い慣れていない？

前期試験講評

- 問4: 労働・人口に関わる門に
 - 4-1: 各種定義とその計算(電卓利用が楽)
 - 4-2: 少子高齢化に関わる問題
 - 4-1は実際のデータを用いているため、電卓を用いなかった人は面倒だったかもしれない(電卓持ち込み率はどのくらいだったか?)
 - 4-2は少子化対策についての政府資料等を元にした問題、「女性の社会進出」という点を取り上げる論調を多く目にするが、講義で取り上げたように「男性の家事不参加」がむしろ問題なのではないか
 - (d)の「男性の育児参加」の正答率が低かった事がまさに問題の根深さを表している

次週の内容

- テキスト9章「企業活動統計」
 - 企業の生産・出荷
 - 設備投資関連統計
 - 第三次産業統計
 - 企業統計